

☆保護者の皆様から貴重なご意見もいただきました。本当にありがとうございました。

オープンスクールで楽しそうにしている姿が印象的でした。先生や友だちとの関係がとてもうまくいっていることに親として安心しました。

楽しい学校生活については、アンケート結果①でも高い評価をいただきました。しかし、児童の6.0%、保護者の3.0%が「あまりそう思わない・そう思わない。」と回答しており、私たち教職員には、児童の発達段階や心情に寄り添ったかかわり方、分かりやすく魅力のある授業づくりが求められます。同時に「組み立て体操」「音楽会」「マラソン大会」「自然学校」等の教育活動等を実施する中で、「小さな壁」を克服する精神力を鍛えていくことも保護者や地域との連携の中で必要なことです。

初めて英語の授業を参観しました。自分が子どもの頃の授業と違って、発音中心でテンポよく、とても楽しい授業でした。子どもたちも生き生きしていました。

外国語(英語)・外国語活動については、本校の特色ある教育の一つです。○具体的には、授業が、英語専門教師・ALT・担任の3人体制であること、○ヨーロッパ英語の成功例に学び、フォニックス(将来的には発音から英単語を習得)や疑似留学体験を繰り返すことにより、暗記式の英語学習から自然な形で英語力習得を目指しています。したがって本校では3年生以上は、日本語よりも英語主導による授業が既に進められています。

宿題や生活と連携しているため連絡帳が統一されたのは良いと思います。

本年度、学校独自の連絡帳を作成しました。○焦点化○見える化○共有化ができたため、家庭学習の手引きと連動させながら、家庭学習の方向を学校と保護者が確認できました。

マイスタやいきいきで先生からのコメントがあると、とても喜びます。特にマイスタでは、子どものやる気をかき立てるようです。簡単な一言で十分です。よろしくお願いします。

マイスタやいきいき(自主ノート)は、与えられた宿題ではなく、子どもが発達段階に応じて自主的にすることに意義があります。そのためには、教職員・保護者のサポートが不可欠です。学校としても既に実施していますが、可能な限りコメント等に努力していきます。

一方、保護者の皆様も休日の読書・授業で習得したことの家庭での生活体験等でご協力をよろしくお願いします。

ランドセルは高学年になるとかなり重たくなるため、健康面で心配です。

既に宿題で使用しない教科書等については、学校に置く仕組みを構築しています。また、図工の作品など、保護者の協力をいただかなければならない場合もあります。

以前のように音楽会の写真を購入できるようにしてほしいです。

音楽会の写真は写真業者(営利企業)が販売しているのが現状です。教職員が部分的にしても販売活動にかかわるのは本来の職務とは言えません。また、集金から業者の支払いまですべて教職員がしていましたが、指定日に集金がそろわず、大金を教職員が保管する問題や指定通りの金額が入っていないトラブル等がよくありました。加えて、業者任せにするとパスワードはかかっているものの個人情報流失してしまう問題があります。したがって写真販売に関しては、高学年の修学旅行・自然学校・1年生の入学写真のみ実施しています。

オープンスクールや音楽会での写真撮影を認めてほしいです。

お子様の成長の過程の足跡として「写真を撮らせてほしい。」という思いは学校としても十分に理解できます。しかし、小・中学校の教育は学習指導要領の教育課程に基づくものであり、学校行事や普段の授業が何よりも優先されるべきものであると考えます。私たち教職員には学校行事や授業を通して、お子様の成長を保護者の皆様にお示しする責務があるのです。子どもから、「写真のフラッシュ等が気になる」という発言等がある限り、儀式的行事(入学式・卒業式)や音楽会、普段の授業では写真についてはご遠慮願いたいと考えます。

加えて、個人情報保護の立場から学校での写真やビデオ撮影については説明責任が発生することもご理解ください。なお、音楽会の写真については、記録用の写真を本年度、6年生のアルバム写真及びPTAの広報誌(1年)に掲載しています。

#### 【学校評議委員会からのご提言】

- ◎学校評価アンケートでは全項目で児童・保護者・教職員とも肯定的な回答が見られうれしく思います。しかし、たとえ数%でも悩みを持つ児童・保護者の困り感を受け止め、課題に向けて真摯に取り組んでください。
- ◎今年に入って外国籍の児童4名が学期途中で転入してきました。また、卒業生で国際結婚をされた方の子弟が3家庭も市場小で体験入学をされています。グローバル化の中でほかの子どもたちにも良い経験だと考えます。しかし、急なことでもあり、この傾向は続くことが予想されます。私たちも学校を支援するために外国人と地域とのパイプ役に努めていきます。
- ◎学校評議委員会でも「人工知能が子どもたちの未来にどのような影響を与えるか。」が議論になりました。学校は、これまでの規制の教育だけでなく、これからの変化の激しい時代・何が起こるか分からない時代に対応した教育についても考える視点が必要です。